

注1

大学番号：私立105

認可

[平成30年度 収容定員の総数の増加]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

東京電機大学

注2

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人東京電機大学

令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

電話番号 03-5284-5202

（夜間） 03-5284-5202

F A X 03-5284-5240

e-mail tdupres@jim.dendai.ac.jp

(注) 1 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

2 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて旧名称を記載してください。

例) ○○大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
①工学部第二部電気電子工学科	
②工学部第二部機械工学科	
③工学部第二部情報通信工学科	
2. 既設大学等の状況	6
3. 附帯事項等に対する履行状況等	8

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京電機大学

(2) 大学名

東京電機大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒120-8551

東京都足立区千住旭町5番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ ヤスタロウ) 加藤 康太郎 (平成16年3月)	(イシヅカ マサアキ) 石塚 昌昭 (令和元年11月)	都合により理事長交代、 令和元年11月1日(2)
学長	(ヤスダ ヒロシ) 安田 浩 (平成28年4月)	(イバモト タダヒコ) 射場本 忠彦 (令和元年10月)	都合により学長交代、 令和元年10月1日(2)
工学部第二部長	(サトウ タイチ) 佐藤 太一 (平成28年4月)	(ヨシダ トシヤ) 吉田 俊哉 (令和2年4月)	任期満了により学部長 交代、令和2年4月1日(2)
電気電子工学科長	(ヒダカ コウイチ) 日高 浩一 (平成30年4月)	(アダチ マサハル) 安達 雅春 (令和2年4月)	任期満了により学科長 交代、令和2年4月1日(2)
機械工学科長	(マツムラ タカシ) 松村 隆 (平成29年4月)	(タナカ イチロウ) 田中 一郎 (平成31年4月)	任期満了により学科長 交代(元)
情報通信工学科長	(ハセガワ マコト) 長谷川 誠 (平成30年4月)	(サカモト ナオシ) 坂本 直志 (令和2年4月)	任期満了により学科長 交代、令和2年4月1日(2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画								定員変更年度	備考			
	修業年限		入学定員		編入学定員		収容定員						
			変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後					
工学部第二部 電気電子工学科 学士(工学)	4年		50人		60人 2年次 2 3年次 2		0人		210人		240人	平成30	平成27年度から平成29年度まで2,3年次編入学定員を各々2名設定していた。平成30年度より編入学定員を設定していない。ただし、令和2年度においても複数年次での編入学試験を実施している。
区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定員 超過率			
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	50 (4)	—	60 (—)	—	60 (—)	—	60 (—)	—	1.09倍	—倍			
志願者数	235 (8)	—	256 (3)	—	413 (1)	—	331 (6)	—					
受験者数	228 (8)	—	239 (3)	—	390 (1)	—	308 (6)	—					
合格者数	125 (7)	—	117 (2)	—	111 (1)	—	138 (5)	—					
B 入学者数	59 (5)	—	64 (2)	—	54 (1)	—	74 (5)	—					
入学定員超過率 B/A	1.18		1.06		0.90		1.23						

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画								定員変更年度	備考			
	修業年限		入学定員		編入学定員		収容定員						
			変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後					
工学部第二部 機械工学科 学士(工学)	4年		50人		60人 2年次 2 3年次 2		0人		210人		240人	平成30	平成27年度から平成29年度まで2,3年次編入学定員を各々2名設定していた。平成30年度より編入学定員を設定していない。ただし、令和2年度においても複数年次での編入学試験を実施している。
区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定員 超過率			
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	50 (4)	—	60 (—)	—	60 (—)	—	60 (—)	—	1.05倍	—倍			
志願者数	255 (6)	—	251 (8)	—	370 (2)	—	339 (3)	—					
受験者数	247 (6)	—	236 (8)	—	350 (2)	—	319 (3)	—					
合格者数	131 (6)	—	127 (5)	—	125 (1)	—	149 (3)	—					
B 入学者数	55 (6)	—	70 (5)	—	59 (1)	—	59 (3)	—					
入学定員超過率 B/A	1.10		1.16		0.98		0.98						

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画								定員変更年度	備考
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員				
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後			
工学部第二部 情報通信工学科 学士(工学)	4年	50人	60人	2年次 2人	0人	210人	240人	平成30	平成27年度から平成29年度まで2,3年次編入学定員を各々2名設定していた。平成30年度より編入学定員を設定していない。ただし、令和2年度においても複数年次での編入学試験を実施している。	
区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定員 超過率
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50 (4)	[]	60 ()	[]	60 ()	[]	60 ()	[]	1.10倍	— 倍
志願者数	254 ()	[]	276 (3)	[]	448 (4)	[]	344 (2)	[]		
受験者数	247 (1)	[]	262 (2)	[]	427 (4)	[]	319 (2)	[]		
合格者数	101 (1)	[]	89 (1)	[]	94 (3)	[]	92 (1)	[]		
B 入学者数	63 (1)	[]	66 (1)	[]	64 (2)	[]	61 (0)	[]		
入学定員超過率 B/A	1.26		1.10		1.06		1.01			

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 - ・ 様式は、令和元年度定員変更の4年制の学科の場合ですが、変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 - ・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 対象学部等が複数の場合には、上記の表を学科ごとに作成してください。

大学の名称		東京電機大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度
					H29年度	H30年度	R元年度	R2年度			
	年	人	年次 人	人					倍		
大学院工学研究科修士課程	2	170	—	340	—	—	0.92	0.92	0.92	—	—
電気電子工学専攻	2	60	—	120	—	—	0.96	1.18	1.07	—	平成21
物質工学専攻	2	25	—	50	—	—	0.80	0.92	0.86	—	平成3
機械工学専攻	2	55	—	110	—	—	1.09	0.85	0.97	—	平成13
情報通信工学専攻	2	30	—	60	—	—	0.66	0.56	0.61	—	平成2
大学院理工学研究科修士課程	2	122	—	244	—	—	1.07	0.79	0.93	—	—
理学専攻	2	15	—	30	—	—	0.93	0.53	0.73	—	平成21
生命理工学専攻	2	25	—	50	—	—	1.28	0.60	0.94	—	平成21
情報学専攻	2	35	—	70	—	—	1.20	0.82	1.01	—	平成21
電子・機械工学専攻	2	35	—	70	—	—	1.02	1.02	1.02	—	平成25
建築・都市環境学専攻	2	12	—	24	—	—	0.58	0.75	0.66	—	平成25
大学院情報環境学研究科修士課程	2	40	—	80	—	—	0.57	0.82	0.69	—	—
情報環境学専攻	2	40	—	80	—	—	0.57	0.82	0.69	—	平成21
大学院未来科学研究科修士課程	2	145	—	290	—	—	1.00	0.87	0.93	—	—
建築学専攻	2	60	—	120	—	—	0.88	0.81	0.84	—	平成21
情報メディア学専攻	2	35	—	70	—	—	0.91	0.77	0.84	—	平成21
ロボット・メカトロニクス学専攻	2	50	—	100	—	—	1.22	1.02	1.12	—	平成21
大学院先端科学技術研究科博士課程（後期）	3	32	—	96	—	0.43	0.18	0.37	0.32	—	—
数理学専攻	3	3	—	9	—	0.00	0.00	0.00	0.00	—	平成18
電気電子システム工学専攻	3	5	—	15	—	0.20	0.00	0.20	0.13	—	平成18
情報通信メディア工学専攻	3	5	—	15	—	0.60	0.20	0.60	0.46	—	平成18
機械システム工学専攻	3	5	—	15	—	0.60	0.20	0.60	0.46	—	平成18
建築・建設環境工学専攻	3	3	—	9	—	0.66	0.00	0.00	0.22	—	平成18
物質生命理工学専攻	3	3	—	9	—	0.33	0.33	0.33	0.33	—	平成18
先端技術創成専攻	3	5	—	15	—	0.80	0.40	0.40	0.53	—	平成18
情報学専攻	3	3	—	9	—	0.00	0.33	0.66	0.33	—	平成18
大学院全体	—	509	—	1,050	—	—	—	—	—	—	大学院の修業年限は、修士課程2年、博士課程（後期）3年である。

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
認 可 時 (平成29年度)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年度)	・システムデザイン工学部情報システム工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	・退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、平成30年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行ってきたところであり、引き続き、教員組織編成の適正化を図る。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年度)	・工学部先端機械工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	・退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、平成30年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行ってきたところであり、引き続き、教員組織編成の適正化を図る。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年度)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年度)	該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。